ドイツにおける環境問題への取り組み

下村 雅則

Environmental Activity in Germany

Masanori Shimomura

研究の目的

ドイツは環境先進国と言われ、廃棄物問題、エネルギー問題、土壌・地下水汚染等の環境問題に対して積極的に取り組んでおり、我が国における今後の対応にも影響を及ぼすものと考えます。
土壌・地下水汚染問題に関しては、エネルギー源として古くから利用されていた石炭を用いたガス精製所跡地におけるPAH（多環芳香族炭化水素）汚染が問題の一つとなっており、原位置での対策技術を確立するための研究が行われています。

技術の説明

界面活性剤を汚染地盤に注入して土壌に残留しているPAHに移動性を与え、汚染物質を除去する原位置浄化手法です。

主 な 結 論

PAH汚染土壌の原位置浄化手法に関する研究では、界面活性剤を使用することにより、高い浄化効果が得られることが分かりました。また、ドイツにおけるエネルギー、廃棄物政策、土壌地下水汚染に対する取り組みの現状から、高い環境意識とまじめな取り組み姿勢が伺えます。